

# 過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査

## 1. はじめに

徳島県西部総合県民局に設置する「にし阿波協働センター」が、過疎・高齢化、人口減少が進行する「にし阿波（徳島県西部圏域：美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）」において、集落再生・活性化に向けてモデル的に調査研究に取り組んだ。

## 2. 研究の背景及び目的

過疎地域の主たる消費者である高齢者が、交通網の縮小や運転免許返納者などの増加により、積極的な消費活動を行えない状況を招いていると危惧される。

この度、モデル集落を選定し、住民の消費活動に関する現状を調査、分析する。

また、2市2町との積極的な連携を進め、地域経済における消費活動の減退を防ぐ施策を検討する。

## 3. 研究方法

### モデル集落の選定

2市2町において、〈表1〉の条件に適合する集落を住民基本台帳を基にそれぞれ4集落(A～D)選定することとした。

その結果〈表2〉に示す16集落を選定することとなった。

〈表1〉モデル選定条件

モデル	条件
モデルA, B	人口50人以上、高齢化率40%以上 集落から主要施設までの距離5km以上
モデルC, D	人口50人未満、高齢化率40%以上 集落から主要施設までの距離5km以上

主要施設：市役所・役場、日用品の購入場所、病院。

<表 2>モデル集落一覧

項目	モデル	集落名*	世帯数 (世帯)	集落人口 (人)			高齢化率
				男	女	計	
美馬市	モデルA	美馬A	29	48	49	97	42.0%
	モデルB	美馬B	42	47	50	97	50.0%
	モデルC	美馬C	20	18	21	39	74.0%
	モデルD	美馬D	20	20	17	37	54.0%
計			111	133	137	270	55.0%
三好市	モデルA	三好A	29	31	45	76	47.4%
	モデルB	三好B	27	29	34	63	41.3%
	モデルC	三好C	15	9	16	24	56.0%
	モデルD	三好D	14	18	12	30	53.3%
計			85	87	107	193	49.5%
つるぎ町	モデルA	つるA	55	56	52	108	48.1%
	モデルB	つるB	30	27	31	58	56.9%
	モデルC	つるC	22	14	22	36	75.0%
	モデルD	つるD	19	17	18	35	51.4%
計			126	114	123	237	57.9%
東みよし町	モデルA	東みA	31	26	24	50	70.0%
	モデルB	東みB	20	27	23	50	50.0%
	モデルC	東みC	8	12	6	18	72.0%
	モデルD	東みD	14	12	16	28	50.0%
計			73	77	69	146	60.5%
合計			395	411	436	846	55.7%

※集落名＝市町村名の上2文字＋モデル名 例：美馬市 モデルA集落＝美馬A

(1) アンケートの実施

選定した集落の住民に対して、アンケートを郵送し記入後返送してもらう。また、集計率の低い集落に対しては、直接おもむき、アンケートに記入してもらう。

「日用品の購入における交通状況アンケート」 別紙1

(2) いきいきサロンでの意見交換

選定したモデル集落のうちいきいきサロン<sup>(注1)</sup>を実施している集落で意見交換を行い、アンケートに見えない課題を掘り起こす。

「いきいきサロン意見交換会結果報告書」 別紙2

(注1) いきいきサロンとは、地域の仲間づくりを目的に、高齢者、障がい者、子育て中の親子などと地域住民が自発的に開催し、協働で企画・運営し、誰でも気軽に参加できる活動。

(3) 2市2町地域交通状況調査

対象となる2市2町の地域交通の現状を調査し整理する。

#### 4. 研究結果

##### (1) アンケート結果 (日用品の購入における交通状況アンケート)

395世帯のうち186世帯(47.1%)からの回答があった。

市町毎においては、美馬市111世帯のうち65世帯(58.6%)、三好市85世帯のうち25世帯(29.4%)、つるぎ町126世帯のうち63世帯(50.0%)、東みよし町73世帯のうち33世帯(45.2%)であった。

<表3> アンケート回答集計 (世帯)

市町村名	集落名	集落世帯数	回答数	率
美馬市	美馬A	29	24	82.8%
	美馬B	42	23	54.8%
	美馬C	20	14	70.0%
	美馬D	20	4	20.0%
計		111	65	58.6%
三好市	三好A	29	5	17.2%
	三好B	27	11	40.7%
	三好C	15	6	40.0%
	三好D	14	3	21.4%
計		85	25	29.4%
つるぎ町	つるA	55	17	30.9%
	つるB	30	16	53.3%
	つるC	22	13	59.1%
	つるD	19	17	89.5%
計		126	63	50.0%
東みよし町	東みA	31	9	29.0%
	東みB	20	13	65.0%
	東みC	8	8	100.0%
	東みD	14	3	21.4%
計		73	33	45.2%
合計		395	186	47.1%

「I.現在、あなたの家にお住まいの人数と年齢について教えてください。」という問いに対して、世帯あたりの人数、年齢、就労者数、免許所持者数及び免許返納者数について回答を得た。

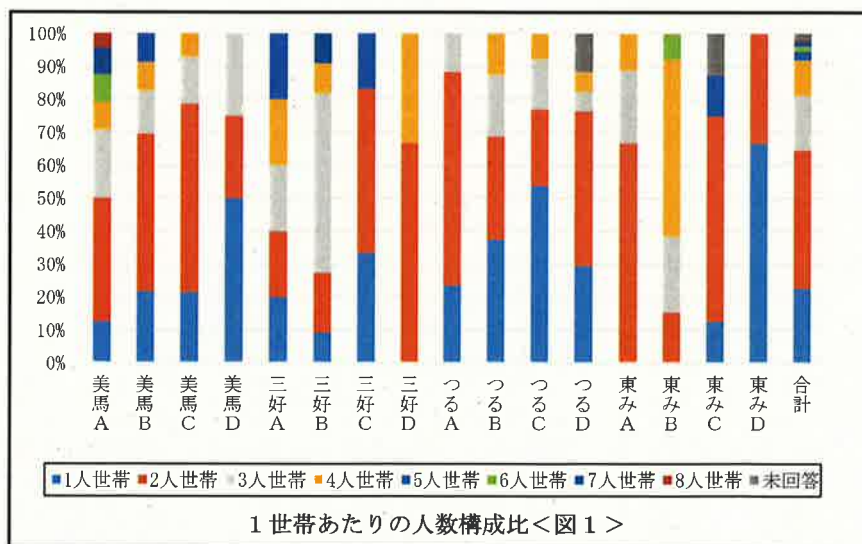
① 1世帯あたりの人数

全体の186世帯のうち78世帯（41.9%）が2人世帯という回答で最も多く、2番目に多い1人世帯とあわせると120世帯（64.5%）で半数以上を占めた。

<表4> 1世帯あたりの人数

(世帯)

市町村名	集落	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	未	計
美馬市	美馬A	3	9	5	2	0	2	2	1	0	24
	美馬B	5	11	3	2	2	0	0	0	0	23
	美馬C	3	8	2	1	0	0	0	0	0	14
	美馬D	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
計		13	29	11	5	2	2	2	1	0	65
三好市	三好A	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
	三好B	1	2	6	1	0	0	1	0	0	11
	三好C	2	3	0	0	1	0	0	0	0	6
	三好D	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
計		4	8	7	3	2	0	1	0	0	25
つるぎ町	つるA	4	11	2	0	0	0	0	0	0	17
	つるB	6	5	3	2	0	0	0	0	0	16
	つるC	7	3	2	1	0	0	0	0	0	13
	つるD	5	8	1	1	0	0	0	0	2	17
計		22	27	8	4	0	0	0	0	2	63
東みよし町	東みA	0	6	2	1	0	0	0	0	0	9
	東みB	0	2	3	7	0	1	0	0	0	13
	東みC	1	5	0	0	1	0	0	0	1	8
	東みD	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
計		3	14	5	8	1	1	0	0	1	33
合計		42	78	31	20	5	3	3	1	3	186

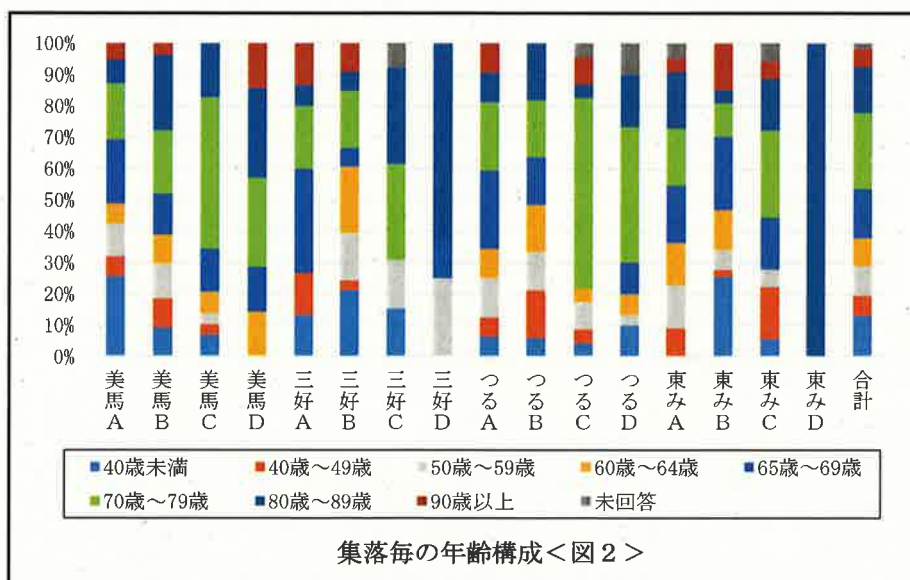


②集落毎の年齢構成

年齢においては、全体の446人のうち310人（69.5%）が60歳以上という結果で7割近くが高齢者であった。特に70歳から79歳の割合が全体の446人のうち108人（41.3%）を占めた。

<表5>集落毎の年齢構成 (人)

市町村名	集落	40歳未満	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳以上	未	計
美馬市	美馬A	20	5	8	5	16	14	6	4	0	78
	美馬B	5	5	6	5	7	11	13	2	0	54
	美馬C	2	1	1	2	4	14	5	0	0	29
	美馬D	0	0	0	1	1	2	2	1	0	7
計		27	11	15	13	28	41	26	7	0	168
三好市	三好A	2	2	0	0	5	3	1	2	0	15
	三好B	7	1	5	7	2	6	2	3	0	33
	三好C	2	0	2	0	0	4	4	0	1	13
	三好D	0	0	2	0	1	0	5	0	0	8
計		11	3	9	7	8	13	12	5	1	69
つるぎ町	つるA	2	2	4	3	8	7	3	3	0	32
	つるB	2	5	4	5	5	6	6	0	0	33
	つるC	1	1	2	1	0	14	1	2	1	23
	つるD	3	0	1	2	3	13	5	0	3	30
計		8	8	11	11	16	40	15	5	4	118
東みよし町	東みA	0	2	3	3	4	4	4	1	1	22
	東みB	12	1	3	6	11	5	2	7	0	47
	東みC	1	3	1	0	3	5	3	1	1	18
	東みD	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
計		13	6	7	9	18	14	13	9	2	91
合計		59	28	42	40	70	108	66	26	7	446



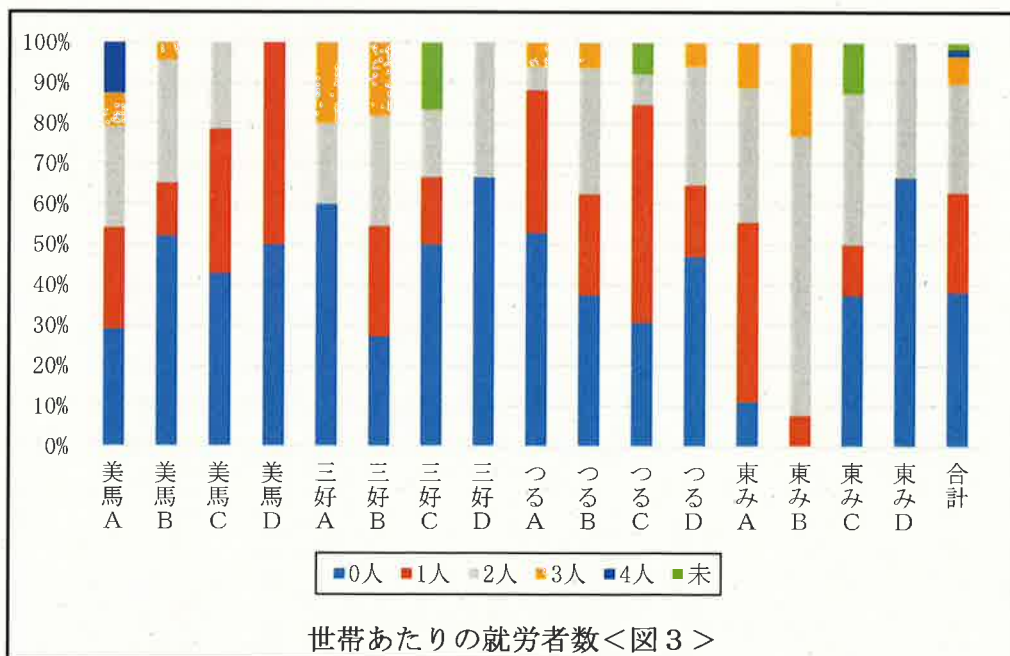
③世帯あたりの就労者数

働いている人がいる世帯は、186世帯のうち112世帯（60.2%）であった。

<表6>世帯あたりの就労者数

(世帯)

市町村名	集落名	0人	1人	2人	3人	4人	未	計
美馬市	美馬A	7	6	6	2	3	0	24
	美馬B	12	3	7	1	0	0	23
	美馬C	6	5	3	0	0	0	14
	美馬D	2	2	0	0	0	0	4
計		27	16	16	3	3	0	65
三好市	三好A	3	0	1	1	0	0	5
	三好B	3	3	3	2	0	0	11
	三好C	3	1	1	0	0	1	6
	三好D	2	0	1	0	0	0	3
計		11	4	6	3	0	1	25
つるぎ町	つるA	9	6	1	1	0	0	17
	つるB	6	4	5	1	0	0	16
	つるC	4	7	1	0	0	1	13
	つるD	8	3	5	1	0	0	17
計		27	20	12	3	0	1	63
東みよし町	東みA	1	4	3	1	0	0	9
	東みB	0	1	9	3	0	0	13
	東みC	3	1	3	0	0	1	8
	東みD	2	0	1	0	0	0	3
計		6	6	16	4	0	1	33
合計		71	46	50	13	3	3	186

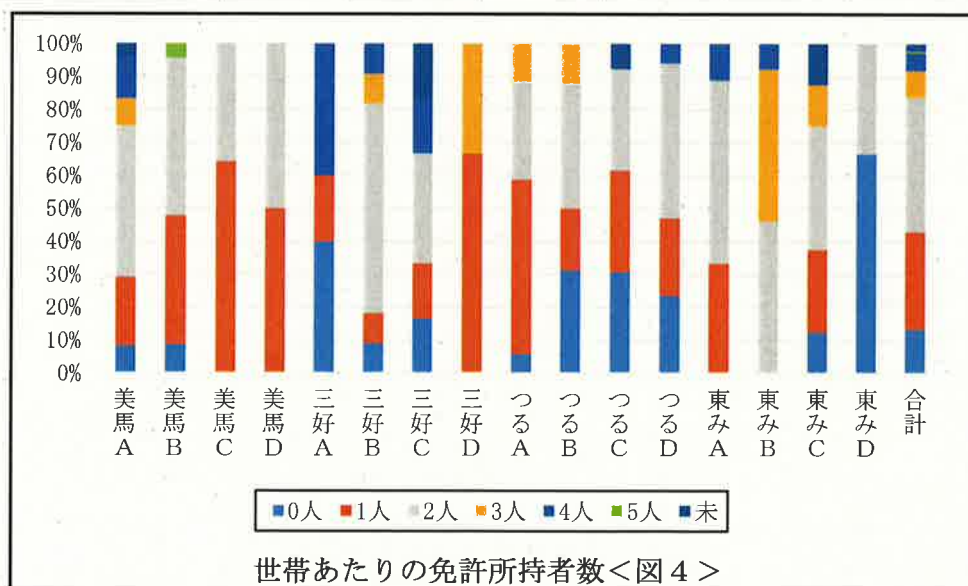


④世帯あたりの免許所持者数

運転免許証を持っている人がいる世帯においては、186世帯のうち157世帯（84.4%）と多くの世帯が運転免許を持っているということとなる。

<表7>世帯あたりの免許所持者数 (世帯)

市町村名	集落名	0人	1人	2人	3人	4人	5人	未	計
美馬市	美馬A	2	5	11	2	3	0	1	24
	美馬B	2	9	11	0	0	1	0	23
	美馬C	0	9	5	0	0	0	0	14
	美馬D	0	2	2	0	0	0	0	4
計		4	25	29	2	3	1	1	65
三好市	三好A	2	1	0	0	2	0	0	5
	三好B	1	1	7	1	1	0	0	11
	三好C	1	1	2	0	1	0	1	6
	三好D	0	2	0	1	0	0	0	3
計		4	5	9	2	4	0	1	25
つるぎ町	つるA	1	9	5	2	0	0	0	17
	つるB	5	3	6	2	0	0	0	16
	つるC	4	4	4	0	0	0	1	13
	つるD	4	4	8	0	1	0	0	17
計		14	20	23	4	1	0	1	63
東みよし町	東みA	0	3	5	0	1	0	0	9
	東みB	0	0	6	6	1	0	0	13
	東みC	1	2	3	1	0	0	1	8
	東みD	2	0	1	0	0	0	0	3
計		3	5	15	7	2	0	1	33
合計		25	55	76	15	10	1	4	186



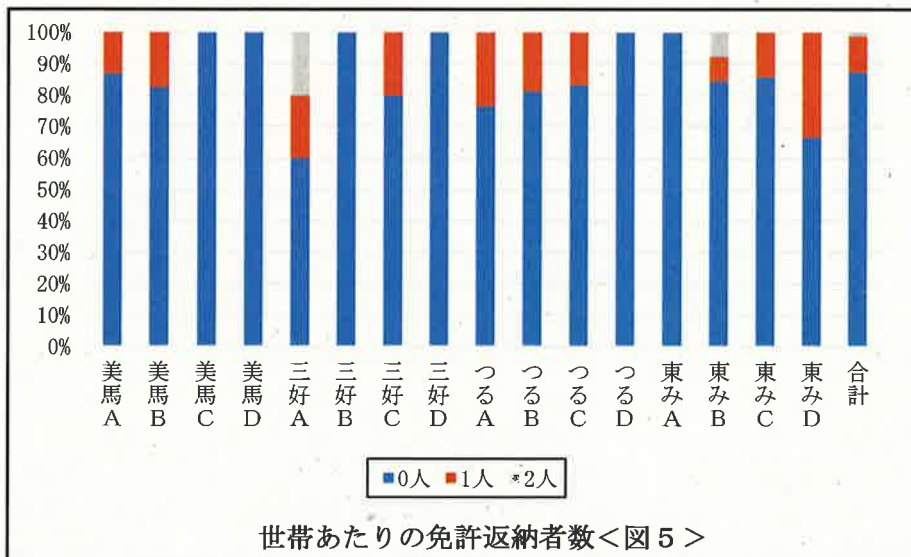


⑤世帯あたりの免許返納者数

世帯において、免許を返納した人がいると回答した世帯は186世帯のうち23世帯(12.4%)であった。

<表8>世帯あたりの免許返納者数 (世帯)

市町村名	集落名	0人	1人	2人	計
美馬市	美馬A	20	3	0	23
	美馬B	19	4	0	23
	美馬C	14	0	0	14
	美馬D	4	0	0	4
計		57	7	0	64
三好市	三好A	3	1	1	5
	三好B	11	0	0	11
	三好C	4	1	0	5
	三好D	3	0	0	3
計		21	2	1	24
つるぎ町	つるA	13	4	0	17
	つるB	13	3	0	16
	つるC	10	2	0	12
	つるD	17	0	0	17
計		53	9	0	62
東みよし町	東みA	9	0	0	9
	東みB	11	1	1	13
	東みC	6	1	0	7
	東みD	2	1	0	3
計		28	3	1	32
合計		159	21	2	182





質問1 日用品をどのようにして買っていますか。あてはまるもの全てに○をしてください。

- ア スーパーや商店などで買っている。
- イ 移動販売車（直接、車で売りに来ている）で買う。
- ウ 家族や近所の人が買ってきてくれる。
- エ ヘルパーさんが買ってきてくれる。
- オ 通販（テレビや雑誌など）で注文する。
- カ インターネット・スマートフォンで注文する。

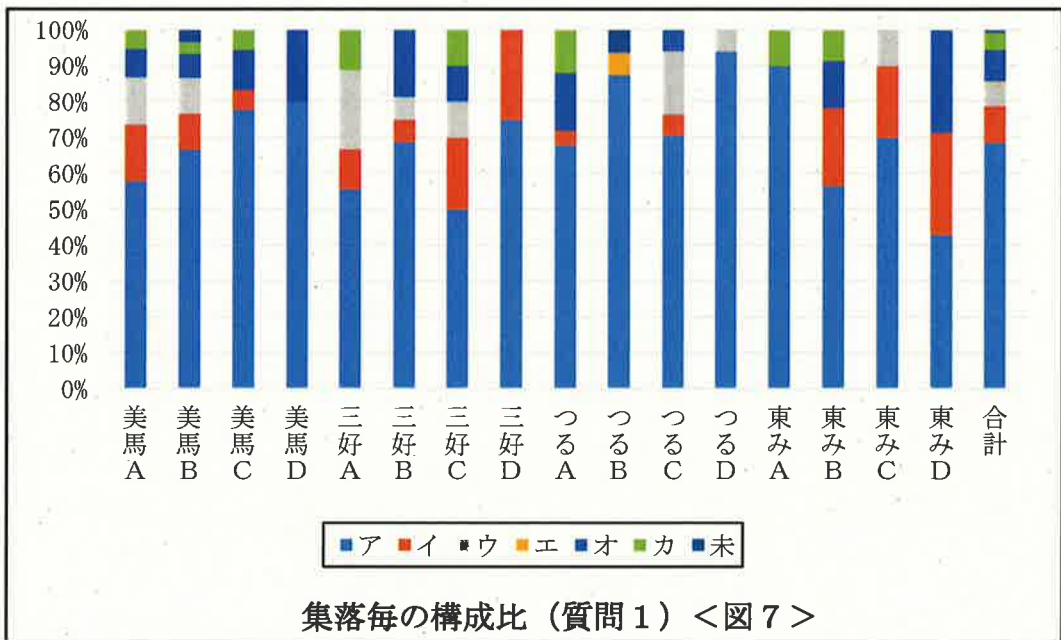
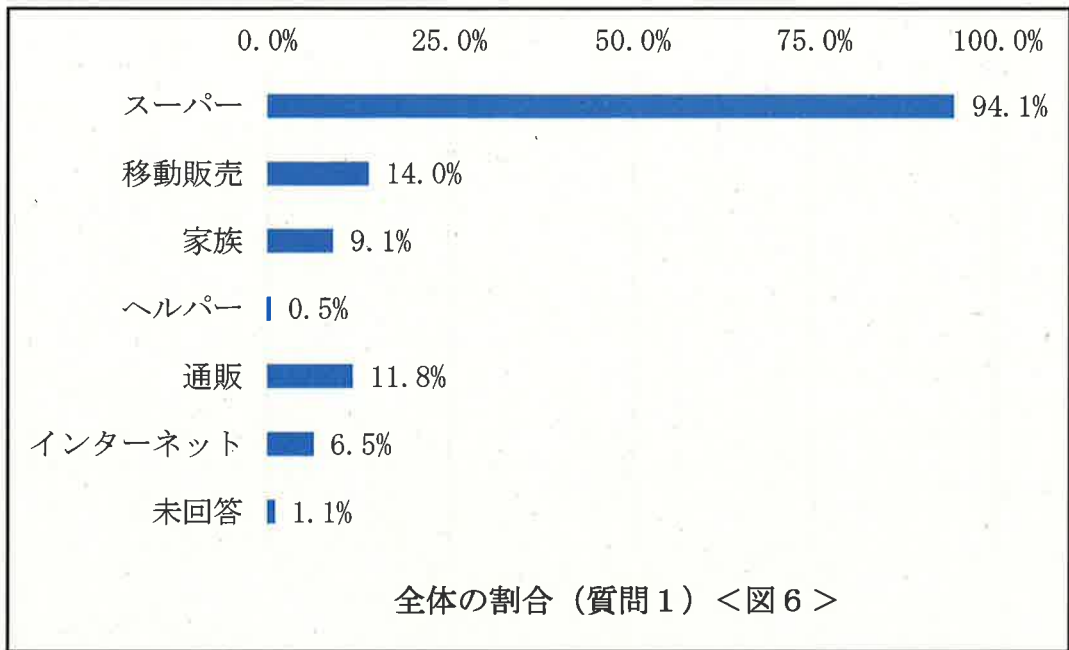
結果概要

「ア スーパーや商店などで買っている」が最も多く186世帯のうち175世帯（94.1%）の方の回答があった。

ついで「イ 移動販売車で買う」が186世帯のうち26世帯（14.0%）であった。

<表9> 質問1 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	未	計
美馬市	美馬A	22	6	5	0	3	2	0	38
	美馬B	20	3	3	0	2	1	1	30
	美馬C	14	1	0	0	2	1	0	18
	美馬D	4	0	0	0	1	0	0	5
計		60	10	8	0	8	4	1	91
三好市	三好A	5	1	2	0	0	1	0	9
	三好B	11	1	1	0	3	0	0	16
	三好C	5	2	1	0	1	1	0	10
	三好D	3	1	0	0	0	0	0	4
計		24	5	4	0	4	2	0	39
つるぎ町	つるA	17	1	0	0	4	3	0	25
	つるB	14	0	0	1	0	0	1	16
	つるC	12	1	3	0	1	0	0	17
	つるD	16	0	1	0	0	0	0	17
計		59	2	4	1	5	3	1	75
東みよし町	東みA	9	0	0	0	0	1	0	10
	東みB	13	5	0	0	3	2	0	23
	東みC	7	2	1	0	0	0	0	10
	東みD	3	2	0	0	2	0	0	7
計		32	9	1	0	5	3	0	50
合計		175	26	17	1	22	12	2	255



質問2 質問1で「ア スーパーや商店などで買っている。」に○をした方について、お答えください。

買い物先までの交通手段は、どうしていますか。あてはまるもの全てに○をしてください。

- ア バスを使っている。
- イ 自分で車を運転して買い物に行っている。
- ウ 家族の運転で買い物に行っている。
- エ タクシーを使っている。
- オ その他 ( )

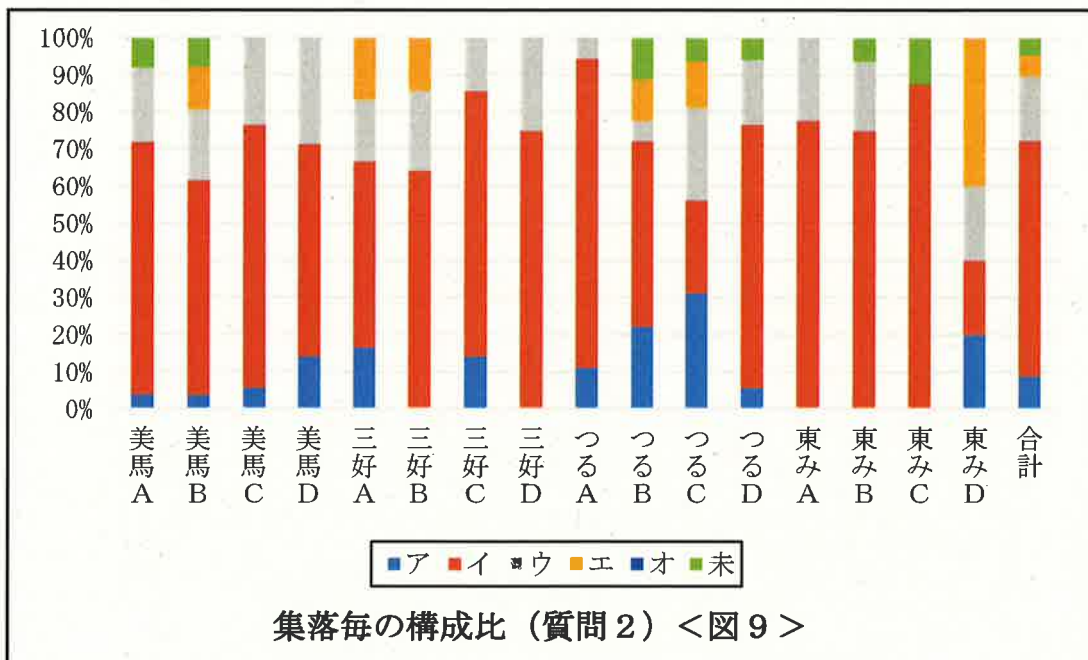
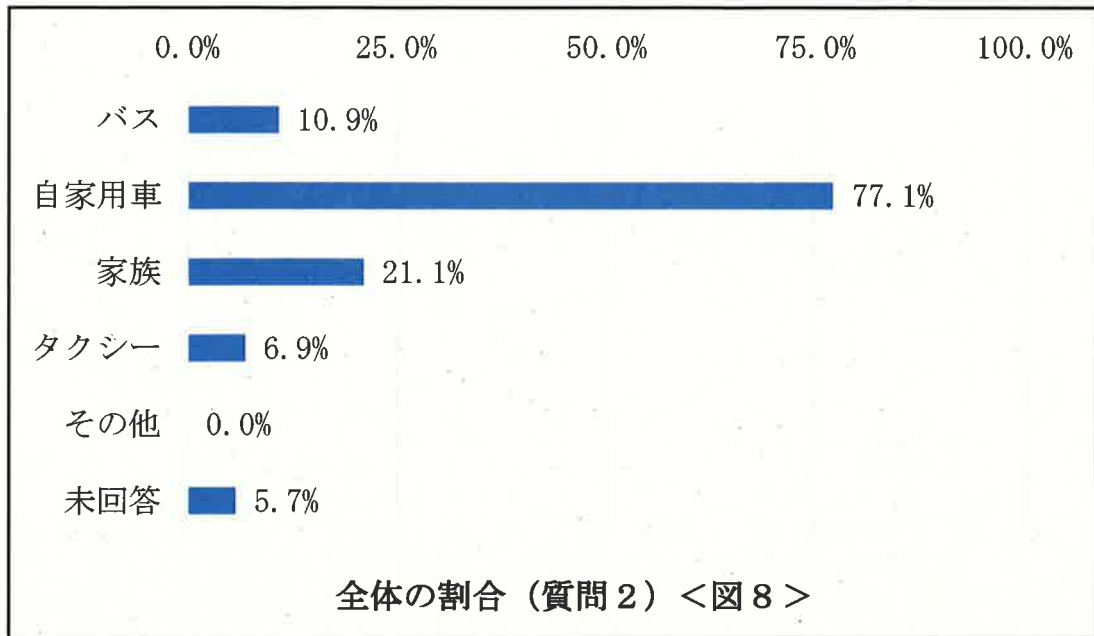
結果概要

「イ 自分で車を運転して買い物に行っている。」が175世帯のうち135世帯(77.1%)と最も多く、ついで「ウ 家族の運転で買い物に行っている。」が21.1%であった。

公共交通(バス・タクシー)は、バス19世帯(10.9%)・タクシー12世帯(6.9%)で、あわせると31世帯(17.7%)であった。

<表10> 質問2 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	オ	未	計
美馬市	美馬A	1	17	5	0	0	2	25
	美馬B	1	15	5	3	0	2	26
	美馬C	1	12	4	0	0	0	17
	美馬D	1	4	2	0	0	0	7
計		4	48	16	3	0	4	75
三好市	三好A	1	3	1	1	0	0	6
	三好B	0	9	3	2	0	0	14
	三好C	1	5	1	0	0	0	7
	三好D	0	3	1	0	0	0	4
計		2	20	6	3	0	0	31
つるぎ町	つるA	2	15	1	0	0	0	18
	つるB	4	9	1	2	0	2	18
	つるC	5	4	4	2	0	1	16
	つるD	1	12	3	0	0	1	17
計		12	40	9	4	0	4	69
東みよし町	東みA	0	7	2	0	0	0	9
	東みB	0	12	3	0	0	1	16
	東みC	0	7	0	0	0	1	8
	東みD	1	1	1	2	0	0	5
計		1	27	6	2	0	2	38
合計		19	135	37	12	0	10	213



質問3 月に何回くらい日用品の買い物をしていますか。

- ア 月1回
- イ 月2回
- ウ 月3回
- エ 月4回
- オ 月5回以上（回数：月 回）

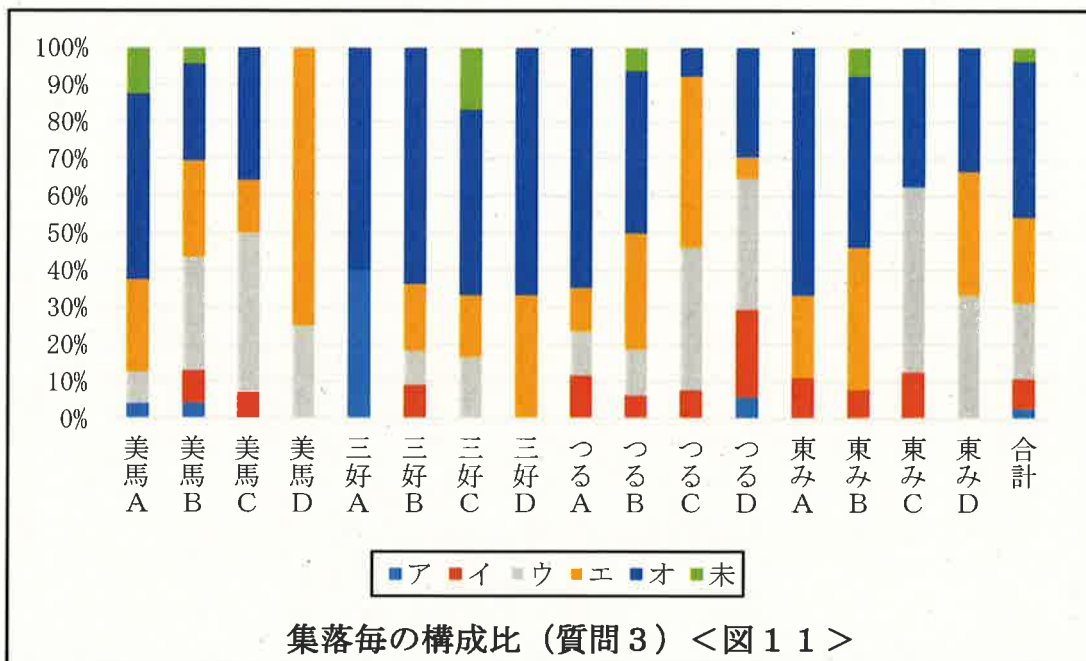
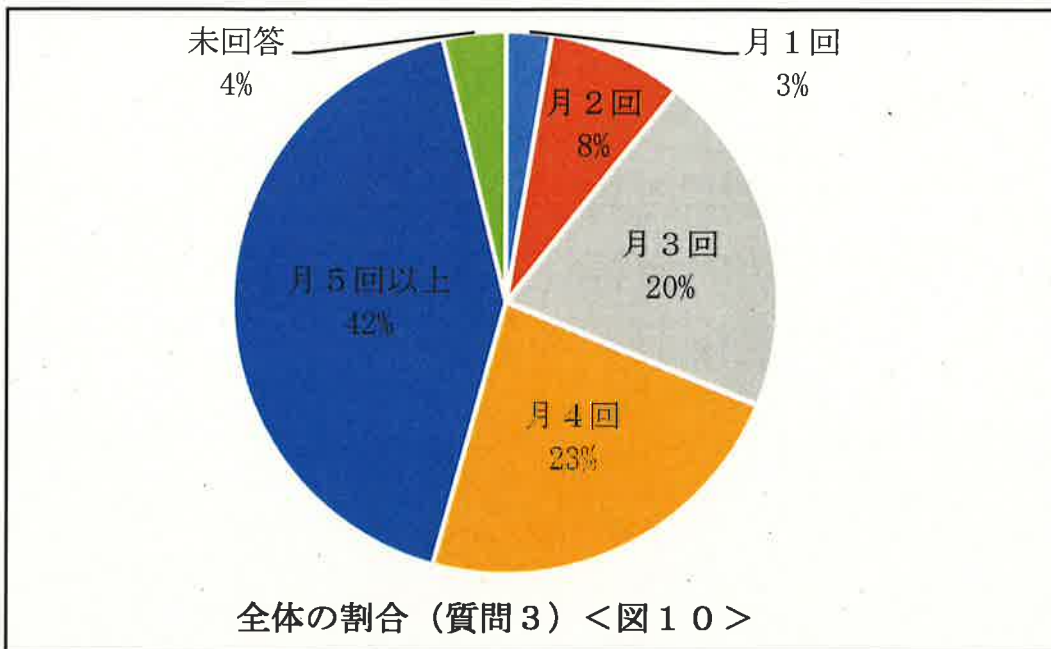
結果概要

月5回以上が78世帯（41.9%）で最も多く、月4回が43世帯（23.1%）であった。週あたり1回と考えた場合に月4回以上となると、121世帯（65.1%）と半数以上が週1回以上の買い物の頻度となった。

また、月5回以上と答えた中には、毎日や20～30回などの回答も多かった。

<表11>質問3 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	オ	未	計
美馬市	美馬A	1	0	2	6	12	3	24
	美馬B	1	2	7	6	6	1	23
	美馬C	0	1	6	2	5	0	14
	美馬D	0	0	1	3	0	0	4
計		2	3	16	17	23	4	65
三好市	三好A	2	0	0	0	3	0	5
	三好B	0	1	1	2	7	0	11
	三好C	0	0	1	1	3	1	6
	三好D	0	0	0	1	2	0	3
計		2	1	2	4	15	1	25
つるぎ町	つるA	0	2	2	2	11	0	17
	つるB	0	1	2	5	7	1	16
	つるC	0	1	5	6	1	0	13
	つるD	1	4	6	1	5	0	17
計		1	8	15	14	24	1	63
東みよし町	東みA	0	1	0	2	6	0	9
	東みB	0	1	0	5	6	1	13
	東みC	0	1	4	0	3	0	8
	東みD	0	0	1	1	1	0	3
計		0	3	5	8	16	1	33
合計		5	15	38	43	78	7	186



質問4 日用品は、主にどこの市町村で買っていますか。

- ア 住んでいる市内・町内（店名： ）
- イ 近くの市町村（市町村名： ）
- ウ 徳島県外（県名： ）
- エ その他（ ）

結果概要

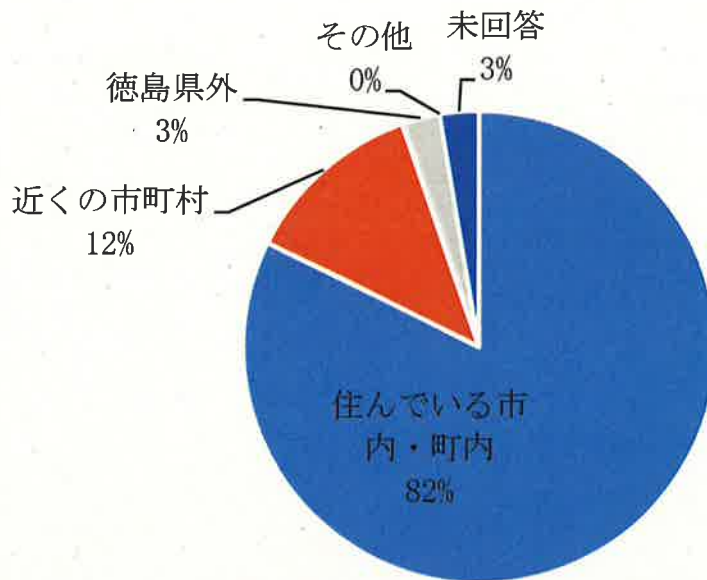
「ア 住んでいる市内・町内」が186世帯のうち153世帯（82.3%）と最も多く、  
ついで「イ 近くの市町村」が23世帯（12.4%）であった。

アの店名においては、マルナカ、フレスポ、デイリー等、地域にあるスーパー名の回答が多く、  
個人商店の回答は、少なかった。

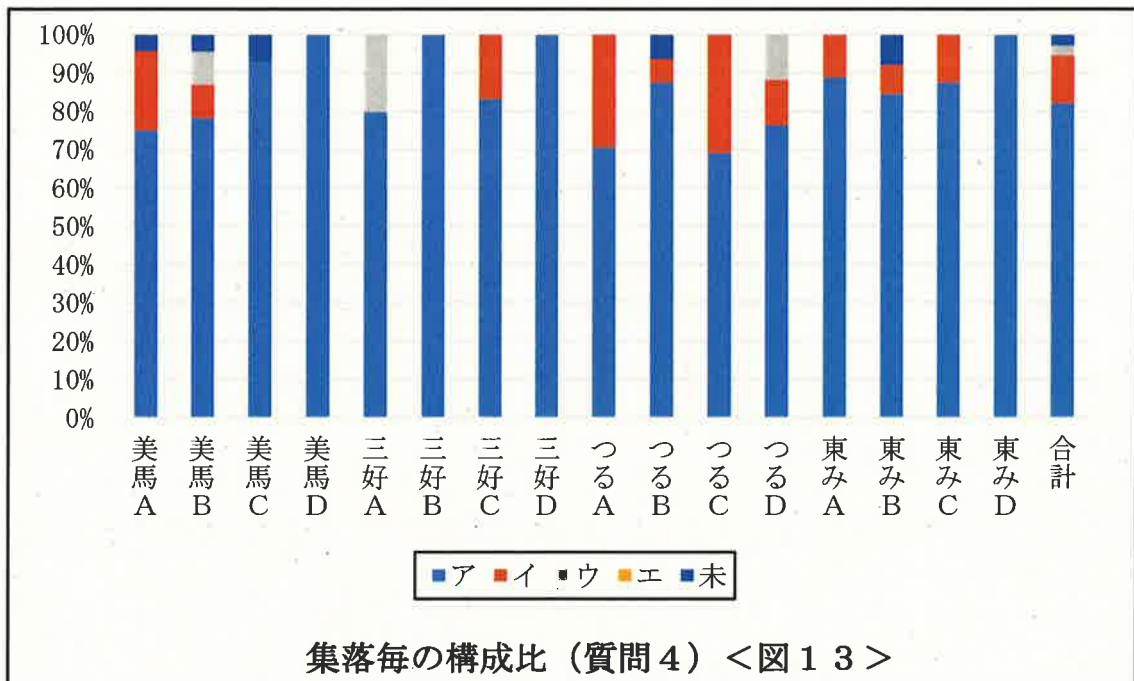
<表12>質問4 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	未	計
美馬市	美馬A	18	5	0	0	1	24
	美馬B	18	2	2	0	1	23
	美馬C	13	0	0	0	1	14
	美馬D	4	0	0	0	0	4
計		53	7	2	0	3	65
三好市	三好A	4	0	1	0	0	5
	三好B	11	0	0	0	0	11
	三好C	5	1	0	0	0	6
	三好D	3	0	0	0	0	3
計		23	1	1	0	0	25
つるぎ町	つるA	12	5	0	0	0	17
	つるB	14	1	0	0	1	16
	つるC	9	4	0	0	0	13
	つるD	13	2	2	0	0	17
計		48	12	2	0	1	63
東みよし町	東みA	8	1	0	0	0	9
	東みB	11	1	0	0	1	13
	東みC	7	1	0	0	0	8
	東みD	3	0	0	0	0	3
計		29	3	0	0	1	33
合計		153	23	5	0	5	186





全体の構成比（質問4）＜図12＞



集落毎の構成比（質問4）＜図13＞

質問5 日用品の購入において、バスをはじめとする公共交通は、必要だと思いますか。

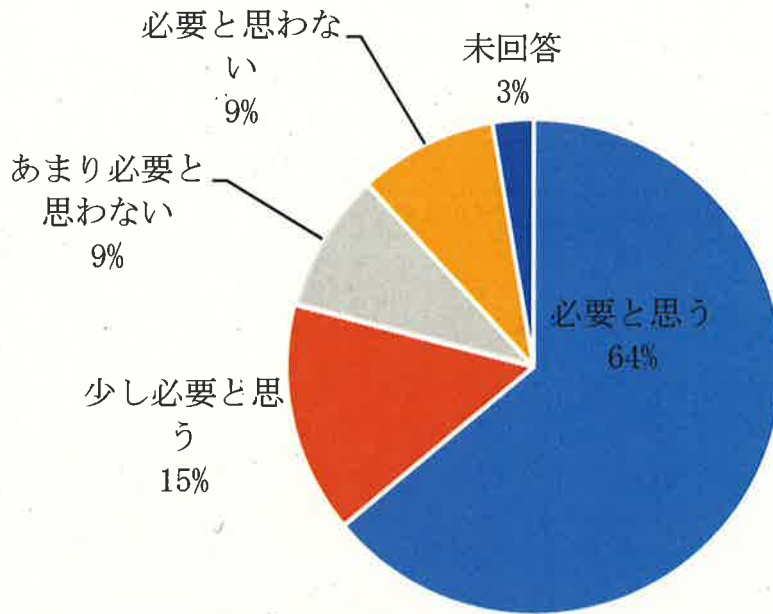
- ア 必要と思う。
- イ 少し必要と思う。
- ウ あまり必要と思わない。
- エ 必要と思わない。

結果概要

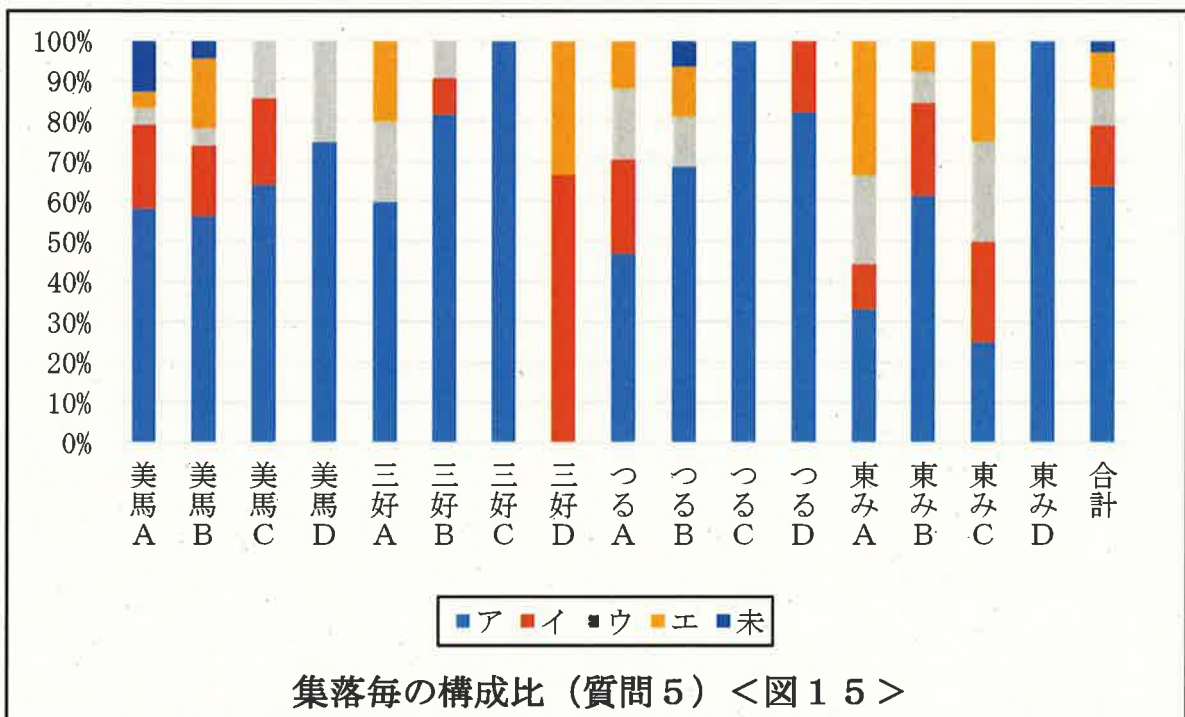
「ア 必要と思う」が186世帯のうち119世帯（64.0%）、「イ 少し必要と思う」が28世帯（15.1%）で、あわせると147世帯（79.0%）が必要であるという回答となった。

<表13> 質問5 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	未	計
美馬市	美馬A	14	5	1	1	3	24
	美馬B	13	4	1	4	1	23
	美馬C	9	3	2	0	0	14
	美馬D	3	0	1	0	0	4
計		39	12	5	5	4	65
三好市	三好A	3	0	1	1	0	5
	三好B	9	1	1	0	0	11
	三好C	6	0	0	0	0	6
	三好D	0	2	0	1	0	3
計		18	3	2	2	0	25
つるぎ町	つるA	8	4	3	2	0	17
	つるB	11	0	2	2	1	16
	つるC	13	0	0	0	0	13
	つるD	14	3	0	0	0	17
計		46	7	5	4	1	63
東みよし町	東みA	3	1	2	3	0	9
	東みB	8	3	1	1	0	13
	東みC	2	2	2	2	0	8
	東みD	3	0	0	0	0	3
計		16	6	5	6	0	33
合計		119	28	17	17	5	186



全体の構成比 (質問5) <図14>



集落毎の構成比 (質問5) <図15>

質問6 日用品の購入において、移動販売車（直接、車で売りに来ている）は、必要だと思いますか。

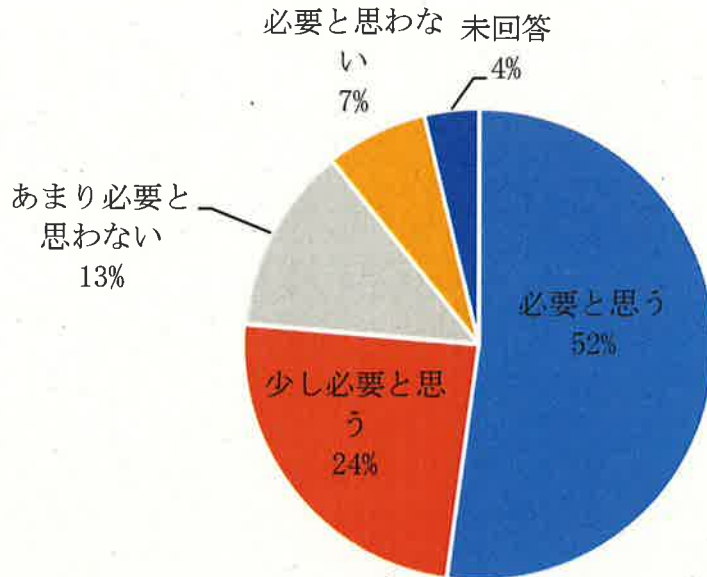
- ア 必要と思う。
- イ 少し必要と思う。
- ウ あまり必要と思わない。
- エ 必要と思わない。

結果概要

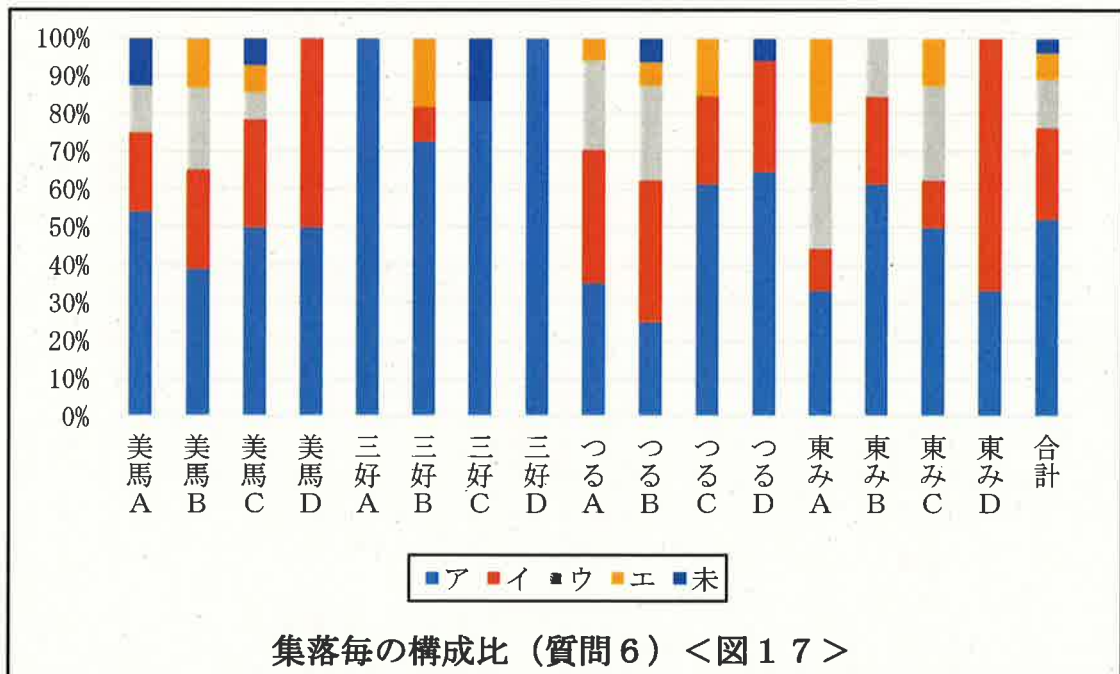
「ア 必要と思う」が186世帯のうち97世帯（52.2%）、「イ 少し必要と思う」が45世帯（24.2%）で、あわせると142世帯（76.3%）が必要であるという回答となった。

<表14> 質問6 集落毎の集計結果表 (世帯)

市町村名	集落名	ア	イ	ウ	エ	未	計
美馬市	美馬A	13	5	3	0	3	24
	美馬B	9	6	5	3	0	23
	美馬C	7	4	1	1	1	14
	美馬D	2	2	0	0	0	4
計		31	17	9	4	4	65
三好市	三好A	5	0	0	0	0	5
	三好B	8	1	0	2	0	11
	三好C	5	0	0	0	1	6
	三好D	3	0	0	0	0	3
計		21	1	0	2	1	25
つるぎ町	つるA	6	6	4	1	0	17
	つるB	4	6	4	1	1	16
	つるC	8	3	0	2	0	13
	つるD	11	5	0	0	1	17
計		29	20	8	4	2	63
東みよし町	東みA	3	1	3	2	0	9
	東みB	8	3	2	0	0	13
	東みC	4	1	2	1	0	8
	東みD	1	2	0	0	0	3
計		16	7	7	3	0	33
合計		97	45	24	13	7	186



全体の構成比（質問6）＜図16＞



集落毎の構成比（質問6）＜図17＞

質問7 日頃の暮らしの中で、現在かかえている不便さや不安に感じるについて自由にお書きください。

#### 結果概要

自由記載欄においては、車が運転できなくなった時などの不安がもっとも多かった。また、バスについて、帰りの便に乗れない、家まで来てほしいなど、各地域の交通状況に応じた要望が多かった。

#### 美馬市

##### 美馬A集落

- ・病院通いの帰りによります。年をとって不安です。
- ・今は大丈夫ですが先の事を考えると、我家は1軒家なので家まで来てもらえるシステムを充実してほしいです。
- ・今はいいんですがこれから先、年を重ねた時が不安になります。
- ・時間がかかるので近くに買物ができる場所があればと思います。
- ・移動バスが家の庭まで来てほしい。
- ・買物する店もないので不便だと思う。今は車を運転できるが年をとったら買物にも困る。
- ・現在、車で買い物とか、自由にいろんなところへも行ったりできるが、年をとっていくとそれができなくなるだろうと思う。この先のことを思うと不安になる。
- ・まわりに人がいなくなる。

##### 美馬B集落

- ・現在は身体的にも健全なのであまり不便さを感じていません。
- ・現在は不便は感じませんがこれから先、病気になったときは移動手段（病院に行く）が不自由になると思います。
- ・ふれあいバスを利用していますが病院の帰りの時間に間に合うかとか、出かけて来たけどスーパーを利用したいと思いますが時間をきにします。
- ・今は主人や近くに子どもがいるのであまり不便とは思わない。
- ・移動販売車を増やす。コミュニティーバスの増便。
- ・ますます年を老いていく中で車を運転出来るときはよいけれど、車に乗れなくなったり病気や夫婦で一人になったときに交通手段がありません。その時に病院、銀行、スーパーその他諸々、体は自分で動ける事は自分でしたいので交通手段があれば良いと思う。
- ・スーパー、また病院が近くにありません。
- ・病気や怪我で車を運転出来なくなった時の移動がデマンドバスを利用しても十分でない事。
  - ・これから10年後には、運転も出来るか不安です。又、病院へは、どのように行けばいいのか不安。
  - ・脇町中心部まで15kmです。車がないと町へは交通に不便なので先は不安です。今は一人でも不安はありません。
  - ・自分で車でいける間は良いけど運転出来なくなった時に大変で不安。その時は移動販売に頼ることになります。
  - ・現在は、自分で車を運転して買物に行っていますが年も82歳ですのでこの先が心配です。
  - ・今後、高齢になり車の運転が不安です。

・今は不自由なく生活していますが、将来運転免許証返納後、買物、病院への交通の不便さのことを思うと不安になる。

#### 美馬C集落

- ・今は不便は余り無ですが先の事を思うと困ったと思っている。
- ・今の所は不便はないが2人共80歳なので何かあったとき若い人がいないので一寸寂しいです。若い人が欲しいです。昔のような近所付き合いは少なくなりました。電話、携帯ができたために。
- ・買物に行くのが少し遠いです。冬は雪が降るので車で町に行くのが大変です。
- ・現在は不安はありません。でも10年後は不安があると思います。それと冬場の雪が降ったとき大変です。

#### 美馬D集落

- ・山間部の者にとって不便さや不安に感じることは日々当たり前になってしまっているの、地域が発展しない限りどうすることもできないと思います。
- ・もし自分が病気になれば病院に行くのが大変だ。また認知症にでもなれば直便のがいる。
- ・ふれあいバスがあるが不便である。自宅から病院までしか行けない。買物にいけない。

### 三好市

#### 三好A集落

- ・高齢者ばかりなので急病の時の対応に不安を感じています。いつごろ運転できるかとか、交通事故の不安とか、買い物難民の恐れとか、近所に空き家が多くなったので防犯の心配もあります
- ・体調が思わしくない時に病院の医師にかかるときの不便と不安がある。
- ・夫婦ともに障害者のため、移動に苦勞する。又、介護の申請等が平日しかできないため、子供等が申請等に苦勞している。

#### 三好B集落

- ・交通の便が悪い。
- ・山間地なので年がたって免許の返納をした時に交通手段がなくなるから山間部へのバスもあつたらいいと思います。病院に行くのも大変です。
- ・最近、車に乗れなくなり非常に不便、朝夕1回でも町までの車（のりあい）があれば病院や買い物に良いと思う（今の所山間部でバスも何もない）。
- ・現在は車の運転ができるので買い物も不便なくいけます。運転ができなくなった時、私共山間地にはタクシーを使うしか交通手段がないですし、お年寄りを思うと移動販売車は便利だと思います。
- ・バスがない地域なので年を取って運転ができなくなることがすごく不安です。移動手段が自家用車かタクシーになってしまうのでバスがあつたらうれしい。
- ・現在は車を運転して買い物に行けていますが、年を取って運転できなくなった場合はタクシーはお金がかかるしバスは便数が少ないので不便な生活になると思います。そうなるとう移動販売車も利用したいと思います。
- ・現在私たちは2人とも車を利用し日用品の買い物に行っています。しかし以前まで移動販売車がこの部落にも来ておりましたが、採算が合わないという事で孤独老人の方々はどのようにしているのかわかりませんが困っているのではと思います。できましたら移動販売車の



人々のことも孤独老人のことも考えていただきたいと思います。

- ・今は不便さを感じていませんが高齢になった時に公共の交通機関がない場所に住んでいるので不安に思っています。
- ・近所のおばさんたちの話しでは、移動販売車が来なくなって、買い物をする楽しみがなくなったのと、移動販売が来た時に集まった近所の人と世間話ができなくなったことが淋しいといわれていました。

### 三好C集落

- ・1.いつ運転ができなくなったときに生活できなくなる事。2.高齢になりいつ耕作できなくなる事の不安。3.妻の介護ができなくなったときの不安。どうしたらよいか？
- ・谷水なので雨が降れば濁り、町水道になればと思う、病院が遠いので心配です。家の周りの草や木の刈込み。山間なのでバスの回数を増やしてほしい、帰りはタクシーに。
- ・1人暮らしなので急な病気や何かあった時の不安が強い、高齢なので耳、目、足などであちこちが調子悪く病院通いしている、通院費もたくさんかかるので経済的に不安。
- ・四国バスが来ているのでそれを利用したいです。
- ・市町村営のバスを平坦部だけでなく、せめて国道沿いぐらいは走らせるべきと思う。

### 三好D集落

- ・山間部で生活しているものはいろいろ苦勞しています。日用品のみならず歯医者にも

## つるぎ町

### つるA集落

- ・車を運転しなくなったとき、バスを利用すると思うとバスの回数が少なすぎると思います。今はまだ大変とは思いませんが。
- ・小学校前から奥へ入ってきて道路が狭いところがあり大きいトラックと会うと避けるのに困る。もう少し所々譲れるところがあったらいい。高齢者の運転が多いため（残土処理場があるため）
- ・現在においては不安はなし。車の運転ができなくなると不安。
- ・近日更新しました。3年前は83歳。事故がないうちに返納したいが先が不安。
- ・現在は、車を運転できているので、あまり交通の面では不便さを感じないが、将来、年老いたとき、車の運転ができなくなった際のことを考えると不安になる。もう少し、バス（コミバスなど）の運行を増やしていただきたい。また、移動販売者も週1→週2に増やしていただけるとありがたい。（他のお年寄りの意見も同様でした。）
- ・道幅が狭すぎる。
- ・今は自分が運転して買物に行っている。元気なうちは今のままでいける。
- ・近くにお店がないのが不便と思います。

### つるB集落

- ・今は車に乗っていますから乗れなくなったとき、山の方なので買物など不便になると思います。
- ・自分が車に乗れなくなったら買物が困りますね。どうしたらいいのかな。
- ・人口減、高齢化により道路の草刈にも支障が出てきており、通行に不便を感じるようになってきている。
- ・重たい物の買い物が手が不自由で持てないのでとても大変です。移動販売者が来てくれた

ら便利です。

#### つるC集落

・大雪や雪で停電になったり、道が寸断されることがある。とても困るので、道にかかる木の伐採を希望します。できる限り一車線道路ではなく対向できる道の整備を願います。

#### つるD集落

・近くに病院がないことが、いつも不安である。(急病の時)近所に元気で頼りになる人がいないため。  
・近所に若い人がおらず、年々人が少なくなっていくことが不安に感じる。

### 東みよし町

#### 東みA集落

・今は運転手がいるけれど、いなくなったら生活に困ると思います。

#### 東みB集落

・1.定期バスが運行されたら自家用は不要となる。2.集落の衰退速度と自身の年齢、健康状態でいつまで生活可能か3.山林・耕作地の保持について。  
・中山間地域の荒廃と将来の維持生活に不安。  
・現在は不便を感じることも少ないが将来、車に乗らなくなった時のことを考えると不安。  
・今はないが将来、免許を返納したら不便になると思う。

#### 東みC集落

・道路が悪い。

#### 東みD集落

・車にのらないのですがタクシーでバス停まで出てバスに乗ってお医者に行きます。  
・水不足の心配、車の運転に不安を感じる。  
・免許証返納し車に乗れないのでタクシーなどを使うが高つくので回数をへらすようになる。バスの割引があるが、山間地域のために使用出来ない。タクシーの割引を考えてほしい。



集落訪問の様子

## (2) いきいきサロンでの意見交換会結果

次の7集落（美馬市3、つるぎ町3、東みよし町1）で意見交換会を実施した。

資料：別紙2 いきいきサロン意見交換会結果報告書

### 美馬市

- ・美馬A集落  
サロン名：美馬Aいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月28日（火） 午後1時から午後3時まで
- ・美馬B集落  
サロン名：美馬Bいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月15日（水） 午前11時から午後1時30分まで
- ・美馬C集落  
サロン名：美馬Cいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月13日（月） 午後1時30分から午後3時まで

### つるぎ町

- ・つるA集落  
サロン名：つるAいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月10日（金） 午後1時30分から午後3時まで
- ・つるC集落  
サロン名：つるCいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月26日（日） 午後1時から午後3時まで
- ・つるD集落  
サロン名：つるDいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月19日（日） 午後1時30分から午後3時まで

### 東みよし町

- ・東みB集落  
サロン名：東みBいきいきサロン  
開催日時：平成29年11月17日（金） 午後1時30分から午後3時まで



いきいきサロン意見交換会の様子

(3) にし阿波の地域交通状況調査結果

にし阿波において、各市町でバスにより地域交通を提供している。提供する方式には大きく2つの方法がある。

定期便方式

- ・決まった時間に決まったルート（バス停）を巡回する方式。
- ・通常運行されているバスなどはこの方式である。

デマンド方式

- ・地域住民の依頼を受け、そのニーズに合わせてドア to ドアで送迎する方式。
- ・タクシーと大きく違う点は、1回の車両で複数人を乗せて運行する乗合である点が見られる。

○それぞれのメリット・デメリット

	定期便方式	デマンド方式
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルートが決まっているため迂回の少ない効率的な運行が可能。</li> <li>・乗合で運行するため、一人あたりの利用料が少なくすむ。</li> <li>・集落の中まで入り込まないため、大型の車両で運行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停留所まで移動しなくても、自宅（もしくはその近隣）で乗車することが出来る。</li> <li>・人口密度の低い地域をカバーすることが出来る。</li> <li>・人口密度の低い地域では、定期便方式よりも運用コストが低くなる可能性がある。</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口密度の低い地域では、乗車率が低くなり、非効率になることがある。</li> <li>・基本的に停留所にしか止まらないため、自宅から停留所までの移動が困難な高齢者などに対応できないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相乗りする人によっては、大きな迂回が発生し、所要時間が大きく変動する可能性がある。</li> <li>・予約の必要性がある。</li> <li>・少人数を送迎するため、定期便方式よりも利用料が高くなる可能性がある。</li> </ul>
導入状況	美馬市（市営バス） 三好市（市営バス・四国交通バス） つるぎ町（コミュニティーバス） 東みよし町（市営バス・四国交通バス）	美馬市（ふれあいバス）  ※一部地域 木屋平地区（NPOこやだいら）

参考文献：「農山漁村の買物支援マニュアル 地域の買物支援対策モデル」

買物支援プロジェクト（社）日本食農連携機構/（財）流通経済支援研究所発行

○市町毎の状況

美馬市

①美馬ふれあいバス

事前に予約して、乗り合い形式で自宅から目的地までデマンド方式で移動する。

②市営バス（4路線）

路線名	起点～経由地～終点
穴吹・道の駅うだつ線	穴吹駅～県民局南～道の駅うだつ
穴吹・木屋平線	穴吹駅～川井～川上
川上・剣山線	川上～猿渕～見の越
滝の宮・剣山線	滝の宮～中尾山～見の越

川上・剣山線及び滝の宮・剣山線については、剣山登山バス（季節運行：平成29年度は夏・秋頃に毎日運行）

③過疎地有償運送（NPOこやだいら）

NPOこやだいらの会員で、運転を行える会員が運転免許を持たない会員等の送迎を行う。運送車両は、運転会員の自家用車両を使用し、事前に予約の上、デマンド方式で送迎する。

料金：1キロメートル当たり130円

三好市

①市営バス（13路線）

路線名	起点～経由地～終点
佐野池田線	佐野～三好橋～池田B T、佐野～池田大橋～池田B T
三野池田線	清水～三好高校～池田B T
下川・大和川周回線	川口駅～総合支所前～影（外回）、 総合支所前～大和小学校～影（内回）、 総合支所前～大和小学校～川口駅（内回）
下名線	境谷～大歩危峡～川口駅
政友線	中ノ瀬～政友小学校～川口駅
平野線	平野小学校～中ノ瀬～川口駅、平野小学校～黒川橋～川口駅、 平野小学校～黒川橋～影
栗山線	栗山～白川口～川口駅、仏子～白川口～川口駅
平線	平～下名小学校～川口駅、平～大歩危駅向～川口駅、 平～藤川橋～川口駅
吾橋・有瀬線	落窪～大歩危駅～一字、落窪～鳴石～大歩危駅、 鳴石～大歩危駅～一字
かずら橋・大歩危線	閑定～一字～大歩危駅、かずら橋～一字～大歩危駅、 閑定～トンネル～大歩危駅、 かずら橋～トンネル～大歩危駅、閑定～県道32号～一字、 閑定～陰～一字
田ノ内線 (H30年度より廃止)	一字～大石宅前～一字（周回）
高野線	石脇～檜尾～中学校、石脇～栃の瀬～中学校、 石脇～栃の瀬～檜尾
名頃線	名頃～久保～京上、名頃～久保～中学校、 名頃～管生～久保、名頃～かずら橋、名頃～かずら橋～剣山

②四国交通バス（10路線）

路線名	起点～経由地～終点
三加茂線	池田B T～三好病院玄関前～辻駅前～東みよし町役場
井内線	池田B T～三好病院玄関前～辻駅前～井内小学校前～井内馬場
本社線	池田B T～三好病院玄関前～四国交通本社前
山城線	池田B T～中西～川口駅前～大野～茂地
出合祖谷線	池田B T～中西～白地城社～川崎橋～出合～祖谷温泉前～ホテル かずら橋前～かずら橋
大歩危祖谷線	池田B T～中西～川口駅前～大歩危峡～大歩危駅前～平家屋敷前 ～秘境の湯前～ホテルかずら橋前～かずら橋～久保
シャトル	大歩危峡～かずら橋

代替路線

漆川線	池田B T～中西～白地城社～三縄駅前～梅ノ谷～漆川八幡神社前
白地循環線	池田B T～中西～白地温泉前～池田ダム～阿波池田B T
野呂内線	池田B T～池田ダム～箸蔵農協前～箸蔵ロープウェイ前～野呂内 口

③辺地タクシー

交通の便が著しく悪い地区（最寄りのバス停からの距離が1キロ以上の地区）に居住する65歳以上の高齢者等が通院・買い物等に利用するタクシー料金の一部（専ら5割以上）を助成する。

つるぎ町

①町営コミュニティーバス（6エリア）

幹線（2台）は365日運行。フィーダー（3台）は平日のみで、各山間集落を月に3～4回運行。全線フリー乗降可。乗車料金は、エリア毎の金額とし、エリアを超えて乗車した場合は、乗車したエリアの合計金額となる。

- 半田・貞光エリア（200円）
- 八千代エリア（200円）
- 端山エリア（200円）
- 一字エリア（200円）
- ラフォーレエリア（1,000円）
- 剣山エリア（400円）

- ・小学生以下の小人は、半額
- ・1歳未満・小学校入学前は、無料（2人目は、小人料金）
- ・障がい者・要介護等認定者、運転経歴免許証明書保有者は、半額
- ・ラフォーレエリア、剣山エリアについては、剣山登山バス  
（季節運行：春・夏・秋の土日 祝日運行、8月中旬は毎日運行）

## 東みよし町

### ①町営バス（1路線）

路線名	起点～経由地～終点
町営バス	東みよし町役場～オアシス前～阿波池田B T

### ②四国交通バス（1路線）

路線名	起点～経由地～終点
三加茂線	池田B T～三好病院玄関前～辻駅前～東みよし町役場

### ③高齢者移送サービス

町から社会福祉協議会に委託

山間地域に在住する高齢者、障がい者などを町内（一部町外）の医療機関や公共機関に送迎を行うもの。

対象者は、「おおむね65歳以上の交通手段が不便な世帯の高齢者」、「交通手段が不便な世帯の障がい者手帳所持者」、「社会福祉協議会長が特に認めた者」で、登録制。

運営は、社会福祉協議会に委託し、社会福祉協議会が地元タクシー業者に運転や利用料收受業務を委託。

利用料：片道200円、介助者200円

## 5. 考察

人口減少、少子高齢化の進展により過疎地域においては、徒歩圏内で日用品を購入する場所がなく、自家用車や地域交通が重要な役割を担っている。

今回、対象とした地域は、全体で高齢化率55.7%、アンケートの回答世帯としては、2人世帯で70歳代が非常に多い集落となった。

### 1. 消費に関すること

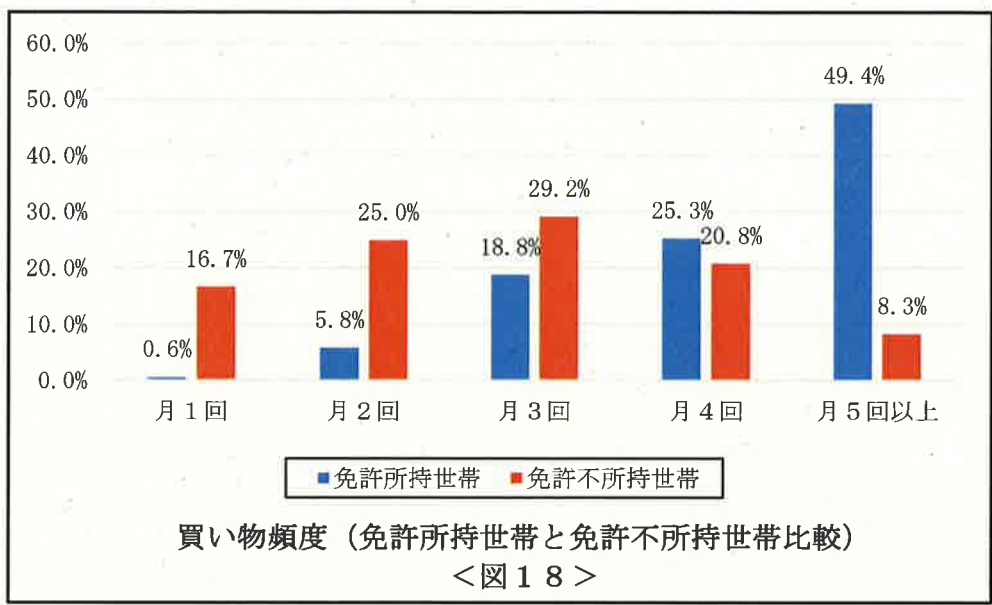
地域のスーパーや商店への買い物に自家用車を利用する世帯が大半を占め、自家用車が運転できない世帯においては、別世帯にいる家族の送迎や公共交通を利用している状況であった。また、自家用車を運転できる世帯ほど買い物の頻度が高く、ほぼ毎日スーパー等へ買い物に出かけている。一方、運転できない世帯は、＜図18＞のとおり買い物の頻度が、ほぼ週1回に満たない状況で、自家用車の使用世帯と大きく乖離していることがわかる。また、買い物の頻度が低い世帯は、1回あたりの購入量が多く、購入した物の持ち運びやバスへの積み込みなど不便をきたしている。

移動販売車においては、回答は少ないものの、移動販売車が定期的に来る集落においては、「非常に便利で活用している」という意見や、集合場所での待ち時間がコミュニティの場として一定の役割を担っている。しかし、移動販売車で扱われている品数が限られていることから、



品数の多いスーパー等での購入が主となるという意見もあった。

その他、通販は、電話で簡単に注文することができるということで利用しているが、インターネットを利用した購入については、「使い方がわからない」、「トラブルに巻き込まれないか不安である」という意見が多く、ほぼ利用していない状況であった。



## 2. 地域交通に関すること

市町毎に地理的条件、人口条件、独自のニーズ調査を基に地域交通を提供しているところである。

定期便運行では、2市2町それぞれが市町営バスを運行し、三好市、東みよし町には、民間の四国交通バスが運行している状況である。

市町営バスや四国交通バスのうち路線バスは、主要な道路にしかバス停が設置されていないため主要な道路まで距離のある集落においては、そこまで出てこなければならずバス停までの交通手段が確保できない。また、便数や路線の増の要望、市外、町外行きのバスがないという意見も多くあった。

その中で、つるぎ町のコミュニティーバスは、幹線部分の運行とは別に集落まで入るフィーダー線を運行することで集落から徒歩圏内までにバス停を設けて対応している。山間地域特有の枝分かれた路線運行のため、集落のニーズに応じた日程表及び時刻表を構築し少ない台数のもと対応している。

デマンド方式では、美馬市においてふれあいバス、木屋平地区のNPOこやだいらによる過疎地有償運送が運行されており、美馬市ふれあいバスについては、「家まで来てくれるので便利である」という意見がある一方、事前に予約しなければならず、「予約時間に合わず乗れなかった」という意見もあった。また、規定路線を走るのではなく、予約に応じて運行箇所を決定することから、満席などで乗車できない場合もある。予約制により、時間を上手に使うことで非常に便利であるが、高齢者にとっては、ハードルが高い部分も多いことが現状である。木屋平地区にあるNPOこやだいらによる過疎地有償運送は、乗車希望者と運転手のマッチングにより運行しており、各ニーズにあった対応ができています。

このほか、三好市においては、路線バスが通らない集落において三好市辺地地区等タクシー利用者助成制度として料金の専ら5割以上を助成し、交通弱者対策を行っている。東みよし町

においては、おおむね65歳以上の方を対象に高齢者移送サービスによるデマンド方式の形をとり運行している。

このように各市町ではそれぞれの実態に応じて対応をとっているものの、住民の要望が多いことがわかった。

### 3. 課題解決に向けて

平成29年3月施行の改正道路交通法で高齢ドライバーへの認知機能検査が強化されたことなどにより、運転免許証自主返納者数は大きく増加となっている。にし阿波においても、今後伸びることが予想されることから、これまで以上に交通弱者に向けた対策が必要である。

この度、「消費活動の問題点を解消する施策案」「地域公共交通バスの問題点を解消する施策案」「地域住民等に公共交通をもっと知ってもらう施策案」に分け施策案をあげさせてさせていただく。

#### (1) 消費活動の問題点を解消する施策案

スーパーでの買い物がもっとも多いことから、公共交通の充実化は、必須であると考えられる。今後、世代が替わり購入方法もさまざまな形へと変化すると想定されることから、誰もが安心して利用できる購入方法を提案したい。

##### ① 地域スーパー・商店移動販売連携

移動販売車が来ていない集落があり、本来はそのような集落こそが必要としている。

そこで、行政のバックアップのもと地域のスーパーや商店から各集落の拠点となる場所や空き家を活用して指定された場所へ配送できるようなシステムを構築する。

#### (2) 地域公共交通バスの問題点を解消する施策案

地域公共交通バスについて、アンケートや聞き取りの結果から次のとおり様々な問題点があげられた。

- ・各市町単位でバスが走っているため、乗り継げない。
- ・主に主要な道路しかバスが通っていない。
- ・バスの運行本数が少ない。
- ・バス停までの距離が遠い。
- ・大きな荷物を載せられない。
- ・運賃が高い。

これらの問題点については、事業者や行政側も理解はしているが、財政面等の都合から改善することが難しい。

そこで、次の事業が有効であるとする。

### ①にし阿波デマンドバス

利用者は、乗り場と行き先を事前に予約し、乗り合い形式で任意の場所から目的地までデマンド方式で送る。範囲は美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町全域。

また、地域住民の生活交通を対象とするのが地域公共交通施策の基本であるが、人口減少社会を迎える中で十分な需要が確保されないため、地域住民だけでなく、観光客等にも利用してもらおう。地域交通と観光面での施策等を一体的に取り組むこととなり、サービスの充実と利用者増に繋がることも期待できる。

### ②自動運転によるバス運行

自動運転で常時路線バスを運行することにより、人手不足の解消につながる。また、テレビや、インターネットと連携を図り運行状況が誰にでも把握できるような体制を整えることでストレスなくバスの乗車ができる。



道の駅「にしいや」・かずら橋を拠点とした自動運転実証実験（平成 29 年 12 月 9 日）

### （3）地域住民等に公共交通をもっと知ってもらう施策案

アンケートや聞き取りの結果から、住民が公共交通の必要性を感じているものの、利用には結びついていないことが分かる。

その理由として、前項で掲げた問題点に起因するものを除けば主に次の3つに分けられる。

ア 現時点では、自家用車を運転できるので不要だが、将来的に運転できなくなることを考えた場合、公共交通を必要だと感じている。

イ 公共交通を利用したいとは思っているが、システム等がよく分からない。

ウ 自家用車があるので不要だが、とりあえずないよりもあった方がいいだろうと考えている。

それぞれの問題点等としては、

アについては、将来的に利用する可能性はあるものの、いざ自家用車が運転できなくなった場合、他の移動手段を確保したり、居住地を移すということも考えられる。

イについては、情報を得られる機会がない又は機会はあるが理解できていないことが考えられる。

ウについては、きっかけ等がない限り、利用することが期待できない。

ア～ウのいずれも、公共交通機関を使うようになる可能性は十分にある。そのためには、現在の公共交通を知ってもらい、自家用車よりも公共交通を使う方が様々な点でメリットがあることを知ってもらう必要がある。

そこで、次の事業が有効であると考えられる。

#### ①乗ってみんでバス講座事業

地域住民に公共交通についてよりよく知ってもらうための出前講座（バスの乗り方教室等）や相談会等を行う。（いきいきサロン、学校の授業等の一環で、事前に教育委員会、社会福祉協議会を通じて募集する。）

#### ②公共交通利用促進パンフレット作成

公共交通の現状やバスの乗り方等が分かるパンフレットを作成し、配付する。

①の講座等でも利用する。

#### ③地域交通アプリの作成

スマートフォンの普及などにより、アプリを作成する。

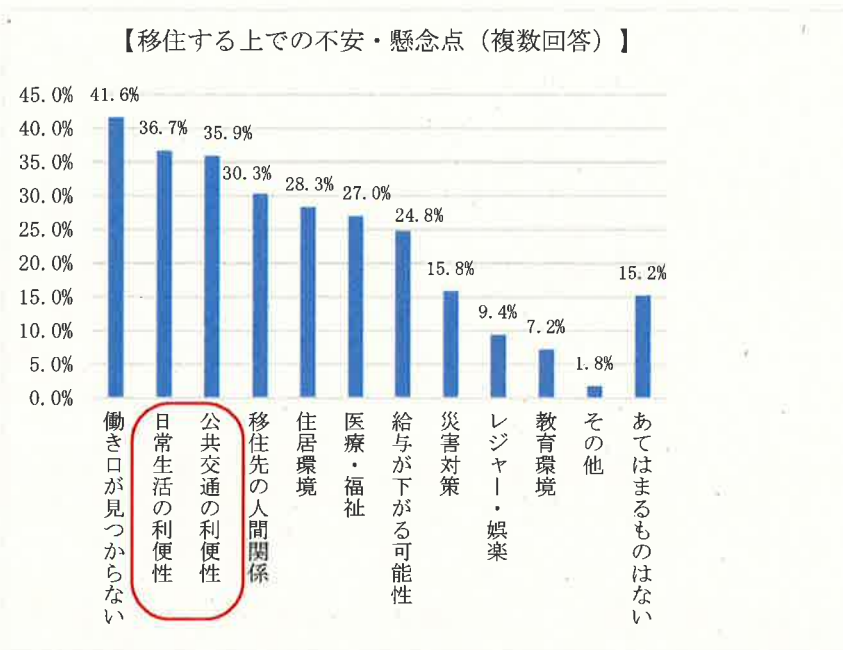
病院やスーパー、市役所、町役場など主要な施設にも設置する。

## 6. おわりに

日常生活において、日用品等の購入による消費活動は必要な行為であり、積極的に行える場を提供するべきであると考えます。そのためには、地域交通と移動販売の連携が過疎地域においては、必要不可欠である。

また、東京在住者の今後の移住に関する意向調査<図19>においても、日常生活や公共交通の利便性は、不安に感じることが高く、地域住民が暮らしやすい環境を整えることは、移住施策の一部分にも繋がることとなる。

今回、市町村関係者、社会福祉協議会と調査結果の情報共有を図っており、本調査結果を軸に今後の協議につなげ、課題解決の取り組みとして市町単位だけでなく、にし阿波として取り組んでいきたい。



参考：「東京在住者の今後の移住に関する調査」結果概要5<図19>

第1回まち・ひと・しごと創生会議（資料2） 平成26年9月19日開催

# 別紙 1

## 過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査 日用品の購入における交通状況アンケート

地域にお住まいの皆様へ

# 日用品の購入における 交通状況アンケート



お世話になります。

徳島県西部総合県民局 企画振興部（美馬）にし阿波振興担当  
です。

現在、地域において日用品の購入に関するアンケートを行って  
います。

つきましては、日々の暮らしの中での日用品の購入、また外出  
時の交通手段について、お教えてください。

各質問に記入いただき、同封されている返信用封筒により返送  
ください。よろしくお願ひします。

抽選により「にし阿波グッズ」を贈呈させていただきます。

I. 現在、あなたの家にお住まいの人数と年齢について教  
えてください。

年齢 性別	40歳 未満	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	80歳 ～ 89歳	90歳 以上
男	人	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人	人

☆働いている方は何人いますか。 ( 人)

☆運転免許証を持っている方は何人いますか ( 人)

☆運転免許証を返納した方は何人いますか。 ( 人)

次のページへ→



Ⅱ. 普段の日用品（食べ物、ティッシュ、洗剤など毎日の生活に必要なもの）の買い物について教えてください。  
※あてはまる箇所に○をしてください。

質問 1

日用品をどのようにして買っていますか。  
あてはまるもの全てに○をしてください。

- ア スーパーや商店などで買っている。
- イ 移動販売車（直接、車で売りに来ている）で買う。
- ウ 家族や近所の人を買ってきてくれる。
- エ ヘルパーさんが買ってきてくれる。
- オ 通販（テレビや雑誌など）で注文する。
- カ インターネット・スマートフォンで注文する。
- キ その他（ )

質問 2

質問 1 で「ア スーパーや商店などで買っている。」に○をした方について、お答えください。  
買い物先までの交通手段は、どうしていますか。  
あてはまるもの全てに○をしてください。

- ア バスを使っている。
- イ 自分で車を運転して買物に行っている。
- ウ 家族の運転で買物に行っている。
- エ タクシーを使っている。
- オ その他（ )



次のページへ→



### 質問 6

日用品の購入において、移動販売車（直接、車で売りに来ている）は、必要だと思いますか。

- ア 必要と思う。
- イ 少し必要と思う。
- ウ あまり必要と思わない。
- エ 必要と思わない。



### 質問 7

日頃のくらしの中で、現在かかえている不便さや不安に感じることにについて自由にお書きください。

[ ]

アンケートのご協力ありがとうございました。

住所、氏名をお書きいただくと「にし阿波グッズ」を抽選により贈呈させていただきます。

住 所： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

※今回、記入いただきました住所及び氏名は、本調査に係る「にし阿波グッズ」の送付のみに使用させていただきます。

#### 調査機関

徳島県西部総合県民局 企画振興部（美馬）にし阿波振興担当  
〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73番地  
電話番号 0883-53-2043

同封の返信用封筒にて平成29年11月20日（月）までにご投函ください。

## 別紙 2

# 過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査 いきいきサロン意見交換会結果報告書

過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	美馬Aいきいきサロン
日時	平成29年11月28日(火) 午後1時～午後3時
参加人数	12名
県担当	時谷主任主事・田中主事・大代地方創生推進員
同行	三宅課長補佐(美馬市社会福祉協議会)
<b>集落概要</b> 美馬A集落(徳島県美馬市) 世帯数: 29世帯(男48名、女49名 計97名) 高齢化率: 42%	
○日用品の購入について <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや商店での購入が多い。</li> <li>・移動販売は、セブンイレブンととくし丸がきている。利用しやすいが</li> <li>・いろんな商品を見たいからマルナカで買う方が多い。</li> <li>・インターネットで購入している方も1名いた。</li> </ul>	
○交通について <ul style="list-style-type: none"> <li>・車の運転が主である。</li> <li>・デマンドバスは、乗っても時間がかかる上に別の集落の山も上がるから車酔いしそう。</li> <li>・デマンドバスは、利用している人もいる。</li> <li>・家族の運転で買い物にいつている。</li> </ul>	
○地域の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンや新年会、春と秋にお祭りを行っている。</li> <li>・防災訓練を実施するなど自治会として活発であった。</li> <li>・行事参加者は高齢者が多く、集会所の備品整備としてイスがほしいなどの要望があった。</li> </ul>	
<b>写真</b>	
	
<b>結果</b> 本集落は、比較的家族で住まわれている方が多く、乗れなくても家族の運転で買い物にいつていたりと特に不便を感じるような方は少なかった。 1名、デマンドバスを利用している人もおりデマンドバスの所要時間についての要望はあった。 いきいきサロンの方は、元気で買い物に行くことを楽しみにしている人も多いが将来への不安があるようだ。	



過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	美馬Bいきいきサロン
日時	平成29年11月15日(水) 午前11時～午後1時30分
参加人数	11名
県担当	藤本課長補佐・時谷主任主事・大代地方創生推進員
同行	三宅課長補佐(美馬市社会福祉協議会)
<b>集落概要</b> 美馬B集落(徳島県美馬市) 世帯数: 42世帯(男47名、女50名 計97名) 高齢化率: 50%	
<b>○日用品の購入について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや商店での購入が多い。</li> <li>・自家用車を使用しなければ買い物にいけない。</li> <li>・移動販売は、毎週水曜日にキョーエイが来ている。大いに利用している。</li> <li>・通販やインターネットはしていない。</li> </ul>	
<b>○交通について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車を中心としている。</li> <li>・タクシーだと片道5000円かかる。</li> <li>・デマンドバスの利用は、予約がいっぱいの時が多い。車椅子はだめなどの制約が多い。</li> <li>・デマンドバスは行きはいいが、帰りは、病院などの終了時間がわからないため予約しづらい。帰りはタクシーで帰らなければならない時があるため経済的に困難である。</li> </ul>	
<b>○地域の現状について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回集まって防災・交通安全研修やイベントの打ち合わせ、お誕生日会なども行っており、地域で集まる機会が多い。</li> <li>・移住者もウエルカムと開けた集落であった。</li> </ul>	
<b>写真</b> 	
<b>結果</b> 本集落は、積極的に集まり、10月にはお祭りなども行っている地域である。現在は、自家用車が運転できる世帯が多いことから困っていない方が多数であった。しかし、デマンドバスを利用する世帯においては、帰りの便の予約がしづらい等の意見もあった。自家用車を運転できる世帯においても、将来、運転できなくなった時に不安であるという意見も多かった。	

過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	美馬Cいきいきサロン
日時	平成29年11月13日(月) 午後1時30分～午後3時
参加人数	11名
県担当	時谷主任主事・田中主事・大代地方創生推進員
同行	三宅課長補佐(美馬市社会福祉協議会)
<b>集落概要</b> 美馬C集落(徳島県美馬市) 世帯数: 20世帯(男18名、女21名 計39名) 高齢化率: 74%	
○日用品の購入について <ul style="list-style-type: none"> <li>・車で脇町マルナカ等のスーパーに買い物へ行くことが多い。</li> <li>・移動販売は、セブンイレブンが来ている。便利であるからもう少し家をまわってほしい。また、生協も利用し便利である。</li> <li>・移動販売は必要である。</li> </ul>	
○交通について <ul style="list-style-type: none"> <li>・夫が病気していることによりデマンドバスを利用している。往路は、デマンドバスで復路は、病院の時間で帰りの予約の時間に間に合わない場合は、タクシーを利用している。</li> <li>・車は手放せない。デマンドバスは、不便である。</li> <li>・将来的に車が運転できなくなればバスは必要である。</li> <li>・病院にいったついでに買い物にいかうと思っても遠い。</li> </ul>	
○地域の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者がいない。</li> <li>・運動会を地域で実施したら地域内で行うため全員が参加してくれた。</li> </ul>	
<b>写真</b>	
	
<b>結果</b> 本集落においては、車の役割が非常に大きい。 デマンドバスの利用に非常に制限があり、車を運転できるうちは、免許返納はできない。 デマンドバスは、家まで来てくれるのは便利であるが、帰る時に予約時間までに間に合わなかったら乗れなく高い料金を支払いタクシーで帰ることとなる。 復路に対する対策が必要であると思われた。 本集落は、運動会を実施するなど集落でのつながりはよく、協力体制もとられている印象であった。	

過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	つるAいきいきサロン
日時	平成29年11月10日(金) 午後1時30分～午後3時
参加人数	7名
県担当	田中主事・大代地方創生推進員
同行	
<b>集落概要</b> つるA集落(徳島県美馬郡つるぎ町) 世帯数: 55世帯(男52名、女52名 計108名) 高齢化率: 48.1%	
○日用品の購入について ・車で美馬市やつるぎ町内のスーパーに買い物へ行くことが多い。 ・移動販売は、とくし丸がきている。車で買い物に行く人は利用が少なく。	
○交通について ・コミバスの利用は、車が運転できるうちは必要がない。 ・帰りの待ち時間がめんどくさい。 ・行くところでお昼になった時に食べる場所も少なく弁当が必要になる。 ・免許返納を言われているが運転できるうちは、返納せず運転したい。 ・この地域はよく、工事車両が通る上に道が狭いから対向に不安を感じる。	
○地域の現状について ・人口も減少し、子どものいる家庭も数件であり寂しくなった。 ・夏祭りや秋祭りなどを行っているが年々参加者も減少してきている。 ・このいきいきサロンが唯一のコミュニティの場となっている。	
<b>写真</b> 	
<b>結果</b> 本集落においては、車の役割が非常に大きい。 コミバスは、今後必要となってくるという認識である。 コミバスの利用について、待ち時間や乗車の自由度を考えた場合、運転できるまでは、自分で車を運転するということであった。 移動販売においても、必要となってくるが、スーパー等で買い物がしたい。便利さだけでなく、行くという事での気晴らしにつながる事の事だった。	



過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	つるCいきいきサロン
日時	平成29年11月26日(日) 午後1時～午後3時
参加人数	8名
県担当	時谷主任主事・田中主事
同行	湧尻(つるぎ町社会福祉協議会)

集落概要

つるC集落(徳島県美馬郡つるぎ町)

世帯数: 22世帯(男14名、女22名 計36名)

高齢化率: 75%

○日用品の購入について

- ・スーパーや商店での購入が多い。
- ・移動販売は、きていない。
- ・車やコミバスを利用し買い物をしている。
- ・1時間かけて歩いて買い物に行く(1名)

○交通について

- ・コミバスを利用している。家まで来てくれるから便利がいい。マルナカで買い物をしたり用事を十分に済ませれる時間がとれるが、帰りまでの待ち時間が長い。
- ・コミバスは、運転手が優しいから電動車に買った物を積んでくれたりして非常にいい。

○地域の現状について

- ・高齢化により、活動は衰退してきているが、力を合わせてお祭りなどを開催している。女性の方が太鼓をたたくなど皆で行っている。
- ・災害時にも車を運転できる人が避難所まで乗せていったり協力しあって生活している。
- ・集落内の絆は強く。過去には、サロンで運動会をするなど集落での協力体制は整っている。

写真



結果

本集落は、高齢化がすすんでおり、電動車の活用が多く。買い物などはコミバスを利用したり家族の方に買ってきてもらったりなどを行っている。

コミバスの役割は、非常に大きく待ち時間等の問題については、仕方ないとも考え工夫しながら活用している。

今後も継続的なコミバスの運行が必要と感じた。

また、運転手の細かい対応が重要であることであった。

過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	つるDいきいきサロン
日時	平成29年11月19日(日) 午後1時30分～午後3時
参加人数	14名
県担当	時谷主任主事・田中主事
同行	
<b>集落概要</b> つるD集落(徳島県美馬郡つるぎ町) 世帯数: 19世帯(男17名、女18名 計35名) 高齢化率: 51.4%	
○日用品の購入について <ul style="list-style-type: none"> <li>・一宇支所の近くにある蔭西商店で買うことがおおい。</li> <li>・移動販売は、きていない。</li> <li>・車を運転しないといけない。</li> </ul>	
○交通について <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバスは、近くまできてくれたらいい。</li> <li>・今は車を運転していつている。車が運転できなくなったら不安である。</li> <li>・買い物バスみたいな物があればいい。</li> </ul>	
○地域の現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道も地域で管理し修繕も行っている。高齢により修繕できる人も少なくなってきた。</li> <li>・いきいきサロンも多くの方が参加し、参加できない家は、ごはんを配っている。</li> <li>・祭りや新年会も行い地域で協力して生活している。</li> </ul>	
<b>写真</b>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<b>結果</b> 本集落においては、車の役割が非常に大きい。 高齢であるが元気であり、車を運転して買い物にいつている。しかし、運転できなくなった時の対応が必要であったと感じた。 他市町村である事例も取り上げてくれて買い物バスなど、コミバスよりももう少し踏み込んだ形の体制を整えてほしいとの依頼もあった。 山奥にある地域で少人数であるが移動販売等が重要であると感じた。	

過疎地域における消費活動に及ぼす地域交通の現状調査  
いきいきサロン意見交換会結果報告書

サロン名	東みBいきいきサロン
日時	平成29年11月17日(金) 午後1時30分～午後3時
参加人数	11名
県担当	時谷主任主事・田中主事・大代地方創生推進員
同行	安宅地域事業推進員(東みよし町社会福祉協議会)

集落概要

東みB集落(徳島県三好郡東みよし町)

世帯数: 20世帯(男27名、女23名 計50名)

高齢化率: 50%

○日用品の購入について

- ・車でスーパーにいつている。今後は不安。
- ・移動販売は、2台きている。生協も利用しているが1名で負担金を支払っている。
- ・元気であるから今は不便はない。車が乗れなくなった時に大変である。

○交通について

- ・高齢者移送サービスは、時間が決まっており帰りに間に合わなかったらタクシーで帰らなければならない。
- ・帰りが早く、用事する時間が少ない。
- ・公共施設や病院のみとなるため近くに買い物の場所があればいいけどなければ買い物することができない。

○地域の現状について

- ・昔から続いている神社と集会所の掃除を月1回行いきいきサロンもあわせて実施している。
- ・空き家が少なく。集落内での協力体制があり秋祭りや春祭り、新年会などを行っている。

写真



結果

本集落においては、車の役割が非常に大きい。

四国交通バスは通らないため、社会福祉協議会が実施している高齢者移送サービスを利用している。しかし、時間が確定している事から用事の時間とあわないまた、停車するところも公共施設や病院と限定されていることから使用しにくいという事であった。まだまだ、元気な方はいるため車の利用が多いが、今後、ニーズにあった形の運営を希望されているような印象をうけた。